



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2623 回例会 10月15日

地区ガバナー 中村 皇積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

●第 2620 地区 2023-24 年度 地区大会 於：アクトシティ浜松

●会長の時間 志村 浩男 会長

モスクワ・ボストークロータリークラブ 会長 ニコライ ゴレシヒン 様

「難民を助ける」 デニス・ミハイリン 様

私は日本の甲府北ロータリークラブ会長の志村浩男と申します。

ロシアウクライナ戦争で両国の兵士、市民、子供たちが傷ついたり亡くなる報道に心を痛めている日本人の一人です。一人のロータリアンとしてロータリーの共通価値観「世界平和」により戦争をやめさせられないかと模索しております。

政治や体制、経済の状況により貧困や紛争に喘いでいる地域が世界中に多数存在し故郷を捨てアメリカやドイツに不法入国せざるを得ない難民が1000万人単位で存在しています。そして世界には貧困による不満を利用した紛争や戦争が絶えません。しかし戦争によって金儲けをたくらむ人々以外の子や孫を持つ一般市民には人を殺したり殺されたりする争いを好む人は誰一人としていないと思います。世界中のロータリアンはそれぞれの地域の文化や歴史、固有の自然環境に生まれ、それぞれの異なる政治経済体制の中で違う言葉を話し生活をし、それぞれが全く違う世界を持っています。その中で不思議なことにロータリークラブは奉仕の理念を共有し世界平和を求めて100年以上存続する世界的なネットワークです。ロータリーの理念やネットワークにより違いを乗り越えて市民の不戦への当たり前の感覚を世界中で共有する大きなうねりを造り出せば世界は平和に一步近づきます。

あなた方のホームページにより「難民を助ける」活動をされていることを知りました。日本の報道ではロシアでの情報が非常に少なくロシアウクライナ戦争で何が起きているのか実態がわかりません。もしあなた方がウクライナ難民を支援しているのなら是非日本に来ていただいて日本のロータリアンにその実態とあなた方の思いを卓話としてお話ししていただければと思います。卓話を通じ不戦への当たり前の感覚をロシアロータリアンも我々と同じように持っていることを確認できれば、それぞれのやり方で不戦への思いを世界中のロータリアンに広げさらに世界中の人々に広げていく起点になると思います。

ご返事いただければ幸いです。



●2622 回例会報告

●米山奨学生 NGUYEN DOAN TRUNG HIEU 君 卓話

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について

目的

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解」「(3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

1 学業

学業に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽（けんさん）を重ねてその成果をあげる努力をする。

2 異文化理解

異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。

3 コミュニケーション能力

人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

民間最大の奨学事業

年間の奨学生採用数は約900人、事業費は約14億4700万円（2020-21年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で22,875人（2022年7月現在）。その出身国は、世界129の国と地域に及びます。

特色 ～世話クラブとカウンセラー～

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

世話クラブとは？

日本には約2,200のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一回以上出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

カウンセラーとは？



奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。

様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本

文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。